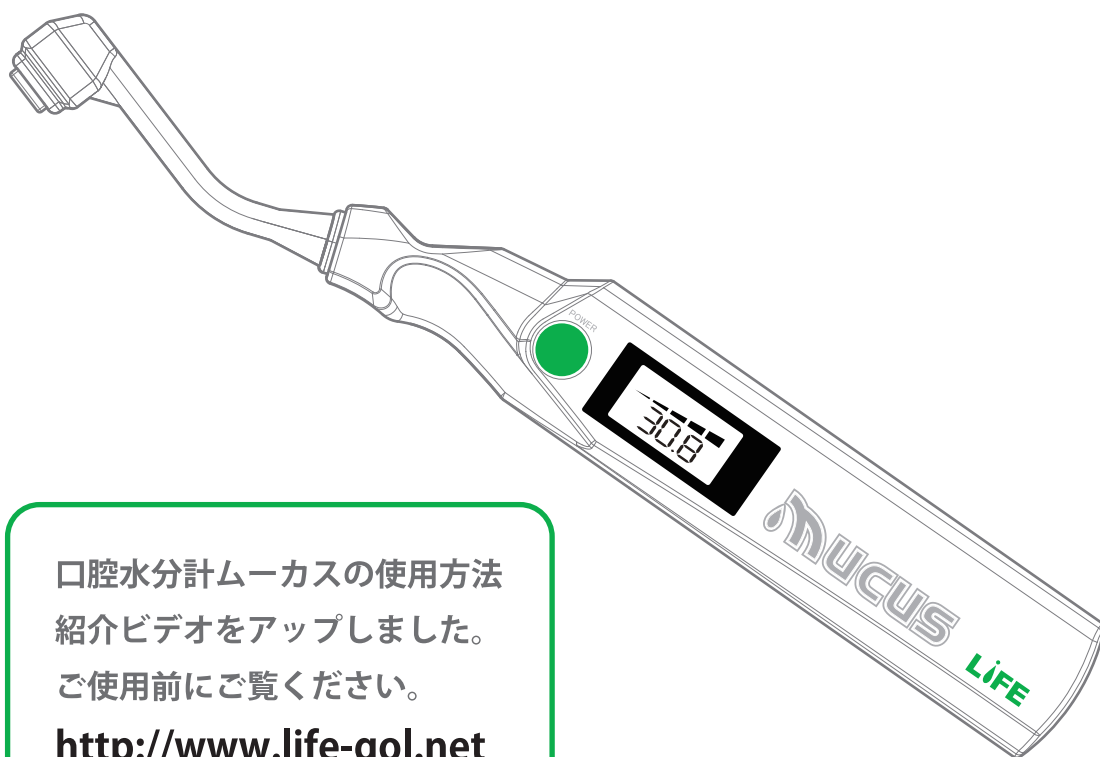


口腔水分計ムーカス®

oral moisture checker mucus

測定方法ガイド



口腔水分計ムーカスの使用方法
紹介ビデオをアップしました。
ご使用前にご覧ください。

<http://www.life-qol.net>

監修： 東京医科歯科大学 顎顔面外科学分野
教授 依田哲也 先生

はじめに

この度は、口腔水分計ムーカス®をご使用いただき誠に有難うございます。

本ガイドは、口腔乾燥症を評価する、「口腔粘膜湿潤度検査」において、口腔内の湿潤度を正しく測定していただくために、測定方法としてお示しするものです。
測定方法は、本ガイドに沿って、条件を統一していただければ、安定した再現性が得られます。

尚、本ガイドの編集に当たっては、東京医科歯科大学 顎顔面外科学分野 教授 依田哲也先生に監修をいただきましたことを深く御礼申し上げます。

測定の前に

1. 測定時間について

測定前は、5分間程度、閉口して、身体的・精神的に安静にしてください。
食事、飲水、会話、興奮、緊張などの刺激に対しても5分経過すればその影響は排除されます。

2. センサーカバーについて

専用のセンサーカバー以外を使用すると正確の測定ができませんので、必ず専用のセンサーカバーを装着してください。
また、感染予防のため、患者ごとに交換して下さい。

3. センサーカバーの取り付け方



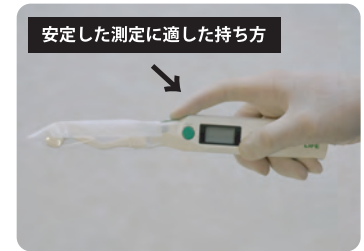
センサーカバーは、透明フィルムと乳白フィルムの2枚構成となっています。透明なフィルム部分がセンサーに軽く触れる程度のところまでかぶせます。センサーカバーをかぶせる際に、先端を1 cm程度、余らせてください。機器先端のセンサー部分がスイッチとなっており、加圧することによってスイッチが入る仕組みになっていますので、カバーで引っ張ってしまうとスイッチが入り、誤作動することがあります。緑色のシール（誤飲防止シール）をムーカス本体の背部分に貼り付けてください。

測定方法

1. 機器の中央部分の電源ボタン（緑色）を押すと、LCD表示が、00.0となります。（準備完了です）



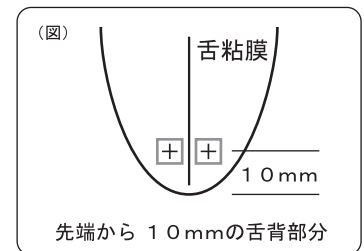
2. 測定する際に、人差し指を、緑のシール上に添えて加圧すると安定します。



3. 舌の下に指を添えてあげると、より安定します。



4. 舌尖から、約 1 cm の舌背部の舌正中溝を避けて、左側、または右側の平らな部分にセンサーの全面を 200g 以上の測定圧で垂直に加圧し、約 2 秒間、押し続けてください。(少し強めに加圧する) 舌が動いたり、測定終了前にセンサーを舌から離したりすると、ピーツとなって、エラーになります。



※ 正常に測定できた場合も、エラー (E-1) 表示になった場合も、そのまま次の測定を行うことができます。電源ボタン (緑色) を押さずにセンサーを舌から一度離して、もう一度、加圧してください。

5. センサー部を押し当て、ピー、ピッピツ (約 2 秒間) とブザーが鳴り終わるまで、押し続けてください。(測定終了です)

6. 時間をおかずに連続 3 回測定し (1 セット)、その中央値を測定値としてください。中央値を採用するのは、センサーの測定圧と圧接角度が一定でないことにより生じるはずれ値を除外するためです。

(例 1) 1 回目 28.9
2 回目 29.2
3 回目 28.7
中央値は、1 回目の 28.9 です。

(例 2) 1 回目 30.0
2 回目 25.4
3 回目 29.7
中央値は、3 回目の 29.7 です。

(注) 測定値 99.8 とは、センサーに直接水が付着しているか、水分が残った状態です。
その際は、乾いた布でふき取ってしばらくしてご使用ください。

判定の目安

	数 値
正 常	29.6 以上
境 界 域	28.0 ~ 29.5
乾 燥	27.9 以下

* 口腔機能低下症の診断は 27 以下です。

*測定値 28～29.5 を境界域とし、28 未満の場合は、口腔内が乾燥状態であることが疑われます。
既存検査法、他覚所見、自覚症状、VASなどと併せた診断が必要です。

(埼玉医科大学を中心とした多施設共同研究による)

*表示される数値は、相対値のため単位はありません。

口腔水分計による粘膜湿潤度検査の論文

Fukushima Y, Yoda T, et al. Evaluation of oral wetness using an improved moisture-checking device for the diagnosis of dry mouth. Oral Science International 14 (2017) 33-36

福島洋介, 古株彰一郎 ほか. 口腔水分計の至適測定方法に関する実験的検討.
日本口腔粘膜学会雑誌 2007年 13巻1号 16-25

福島洋介, 依田哲也ほか. 健常者における口腔粘膜湿潤度の時間的変動に関する実験的研究.
日本口腔粘膜学会雑誌 2009年 15巻1号 15-21

Shinkawa T et al., Poor Chewing Ability Is Associated with Lower Mucosal Moisture in Elderly Individuals. J. Exp. Med., 219:263-267, 2009

Ishimoto S et al., Objective assessment of dry mouth using a non-invasive device, Acta Oto-Laryngologica, 129:1527-1528, 2009

製造発売元 株式会社 ラ イ フ
〒343-0846 埼玉県越谷市登戸町15-5 山新ビル
TEL 048-990-8201 FAX 048-988-3901